

経営比較分析表

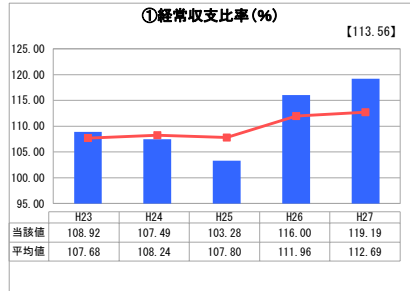
岡山県 笠岡市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A4
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	92.97	98.60	4,190

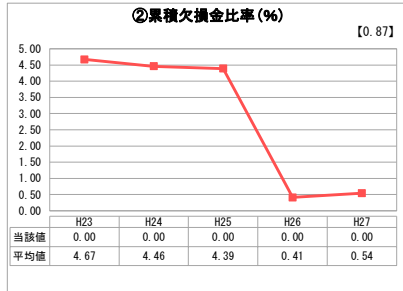
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
51,219	136.39	375.53
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
50,184	136.39	367.94

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

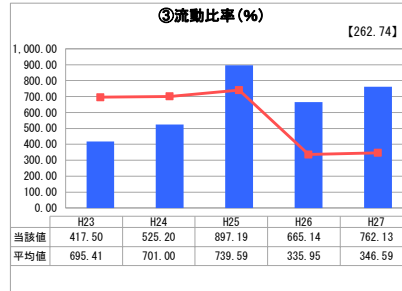
1. 経営の健全性・効率性



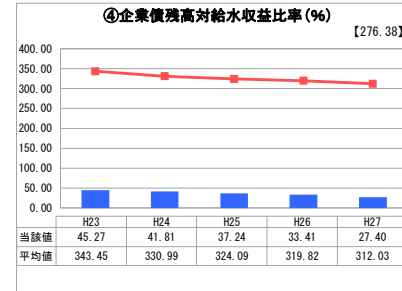
「経常損益」



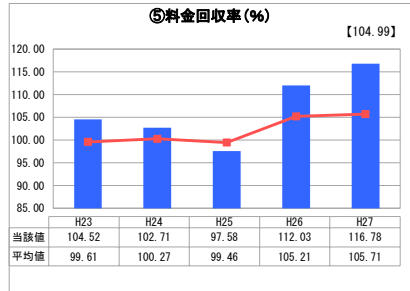
「累積欠損」



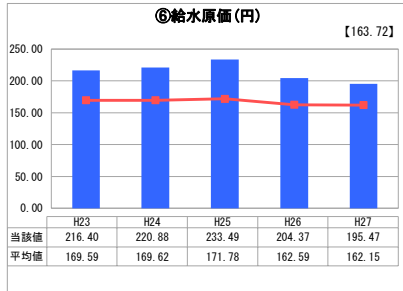
「支払能力」



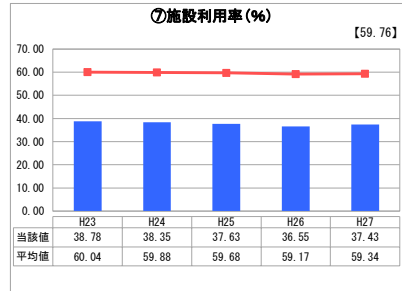
「債務残高」



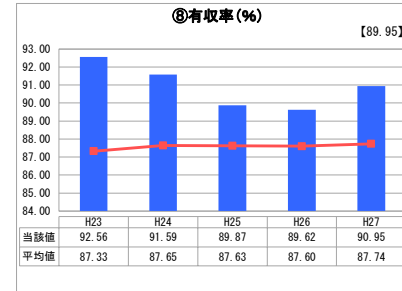
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

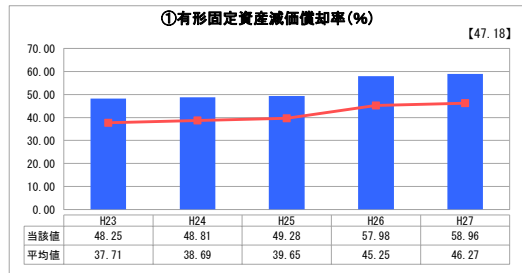


「施設の効率性」

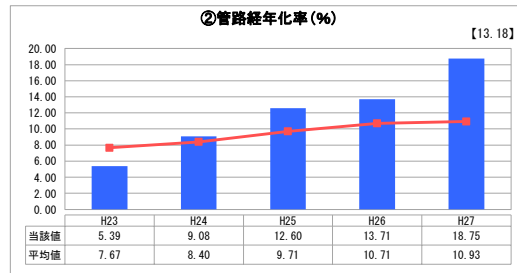


「供給した配水量の効率性」

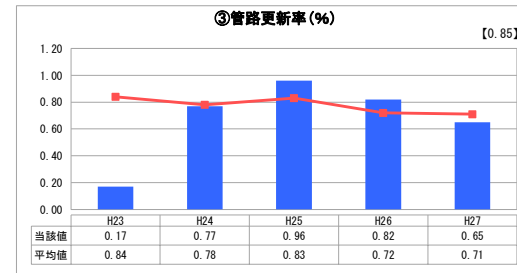
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「経常収支比率」
100%を上回っており、健全な経営状態となっています。平成26年度以降は、会計制度の改正による影響で増加しています。
「累積欠損金比率」
累積欠損金は、平成23年度以降ありません。
「流動比率」
100%を上回っており、健全な状態が続いています。平成25年度は、未払金が少なかったため、増加しています。
「企業債残高対給水収益比率」
類似団体平均値を大きく下回っており、企業債の償還が進んでいる状況です。
「料金回収率」
平成25年度は100%を下回りましたが、平成26年度以降は会計制度の改正による影響で増加しています。
「給水原価」
本市では、水源が遠く、また、島しょ部を含む市内全域に配水するために多くの費用が必要で、類似団体平均値を上回る水準となっています。
「施設利用率」
給水人口の減少等の影響で、類似団体平均値を下回って低迷しています。
「有収率」
類似団体平均値を上回っています。平成27年度は、大きな漏水がなく、改善しました。

2. 老朽化の状況について

「有形固定資産減価償却率」
類似団体平均値を上回っており、施設の老朽化が進んでいる状況です。平成26年度以降は、会計制度の改正による影響で増加しています。
「管路経年化率」
過去に集中して整備した管路が法定耐用年数を迎える時期に入ったため、ここ数年で急増し、類似団体平均値を上回る状況になっています。
「管路更新率」
平成24年度以降は、類似団体平均値並みとなっています。平成27年度は、平成26年度と比べて管路の更新に要した工事費用は同程度でしたが、更新した管路の長さが短かったため、管路更新率が低くなっています。

全体総括

健全な経営状態を維持していますが、その一方で、施設の老朽化が進んでいる状況です。特に、耐用年数を超えた管路がここ数年で急増していますが、管路更新率は減少傾向にあります。
そこで、管路の更新を急がなければなりません。海送水管を含む500km弱の管路を保有する本市では、管路の更新には莫大な費用が必要となります。
そのため、管路を含む施設の更新は、計画的・効率的に実施しなければなりませんので、平成29年度以降に中長期の施設の詳細な更新計画を立て、施設の更新に取組みます。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の実績を基に類似団体平均値を算出しています。